

[別紙①]

うれしい！ たのしい！ だいすき！ みんなでつくるみんなの学校

たつの市立揖保小学校

1 はじめに

本年度は、特別活動のありかたを見直しながら、「うれしい！たのしい！だいすき！みんなでつくるみんなの学校」というテーマを設け、児童会活動を中心とした取組を進めることとした。児童による企画・運営を行い、達成感や成就感を味わう経験を重ねていくことで、自己肯定感や自己有用感を高め、自分たちでよりよい学校を築いていこうとする意欲を育むことをねらいとして、実践を積み重ねている。

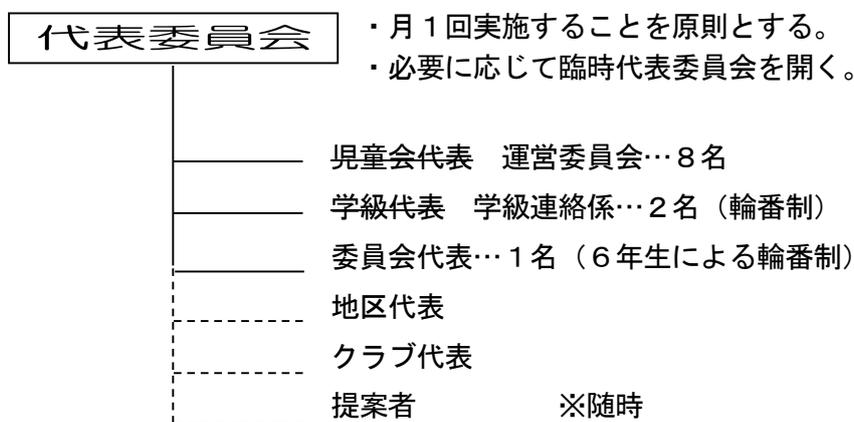


2 取組

(1) 全校児童が参加できる児童会活動をめざして ～みんなでつくる みんなの学校～

①代表委員会の見直し ～みんなが参加できるかたちに～

よりたくさんの児童が代表委員会に参加できるよう、各学級・各委員会からの代表は輪番制とした。また、前期・後期児童会代表（6年生）の選出を廃止し、運営委員会児童が主体となって代表委員会を進めることとした。



②児童会掲示板の活用 ～みんなにわかりやすく～

全校児童が目にしやすい場所の掲示板を活用し、各委員会・クラブ活動をPRする「いぼっこけいじばん」を設置した。各委員会からのお知らせを書いた用紙を掲示し、活動を全校にPRしている。情報が一目で分かり、低学年の児童にも的確に伝えることができる。また、委員会同士のよい刺激にもなっている。



[別紙②]

(2) うれしい!たのしい!だいすき!があふれる集会活動をめざして

全校児童が集まった集会活動は3年ぶりとなった「1年生を迎える会」。これまでの本校の集会活動の流れを見直し、運営委員会、代表委員会を中心にプログラムについて話し合った。全校児童が参加できる内容にすることで、一体感を得られる集会となった。



①大きな声で「はい!」

「だれにだっておたんじょうび」のピアノに合わせ、一人ひとりの大切な名前を全校みんなで呼び、1年生は大きく返事をした。「自分」を表現する喜び、「自分」が認められ、大切にされる喜びを感じさせることができた。

②全校児童がふれあえるゲームを

全校みんなが参加でき、異学年交流がはかれるゲームを取り入れた。「揖保小わくわく〇×クイズ」では、各委員会活動にまつわるクイズを1問ずつ出題させることで、中心となる運営委員会とともにこの集会をつくりあげた達成感を味わうことができた。



③みんなでおどろう!～ジャンポリミッキー～

ステージダンサーを各学年から募集し、リハーサルを重ねた。その中で学年を超えた連帯感が生まれ、意欲的に練習することができた。本番では、ステージ上での明るい笑顔と元気なダンスで全校での活動をさらに盛り上げた。終了後、ステージ裏で互いの健闘をたたえ合う姿が印象的だった。

(3) 委員会活動を活性化させるために

①運営委員会【雨の日限定☆いぼっこわくわくLIVE!】

雨の日でも教室で楽しく過ごせるようにと企画した。雨のため運動場が使用できない日の大休み・昼休み限定で、空き教室のスタジオからGoogleMeetでのLIVE配信を行った。テレビの情報番組を参考にしながら自分たちでコーナーを考え、ピアノの生演奏によるオープニング、中庭からのお天気中継、じゃんけんなどを取り入れた。メインの「日替わり



コーナー」は、各学年・各委員会が担当することとした。学習の成果として音読を発表したり、有志がダンスや歌を披露したり、Meetでも参加できるゲームやクイズを提案したりして、たくさんの児童が番組づくりに参加することができた。それぞれの教室にいながらみんなで楽しい時間を共有することができた。

[別紙③]

②放送委員会【今日のIBOニュース】

お昼の放送の中で、学校内の様子を取り上げて知らせる「今日のIBOニュース」のコーナーを設けた。「メダカの子どもが生まれました」「農園のトマトが赤くなり始めました」など、いろいろな学年の話題が取り上げられ、学校中が明るい雰囲気になった。

③図書委員会【あつまれ！いぼっこ おはなしかい】

図書室で絵本の読み聞かせ会を企画した。大型スクリーンにページを提示することで話の世界にぐっと引き込まれ、低学年から高学年までいっしょに楽しむことができた。

3 成果及び今後に向けて

活動を進めていく中で意識したことは、「児童一人ひとりが参加できること」である。学年に関わらず、小さなことであっても活躍の場を多く取り入れられるよう支援した。自分が認められる、自分の思いが形につながる、やってよかったと感じられる経験を重ねることで、“自分”を大切に感じ、自信をもって認められるようになってきている。その中で、少しずつ自主性も育まれている。

これらの活動を通して、少しずつではあるが、自分たちの思いを自分たちで形にしていくなかで意欲につながってきている。また、それをみんなで共有することの意義を感じ始めている。この経験を重ねながら、学年を超えて、全校みんなで「うれしい！たのしい！だいすき！」な学校をつくっていかうとする意欲や雰囲気も高まってきているように感じている。

みんなで楽しむこと、みんなで喜びを共有すること、みんなで作ることを。 “みんなで”がこんなにも大きな力をもつことに気付かされた。これからも、一人ひとりの思いや考えが学校をつくっているという意識を高める活動をめざしていきたい。そして、自分を認め、認められ、大切に感じることでできる学校、「学校って楽しい」と感じることでできる学校を、子どもたちといっしょに築いていきたいと思う。



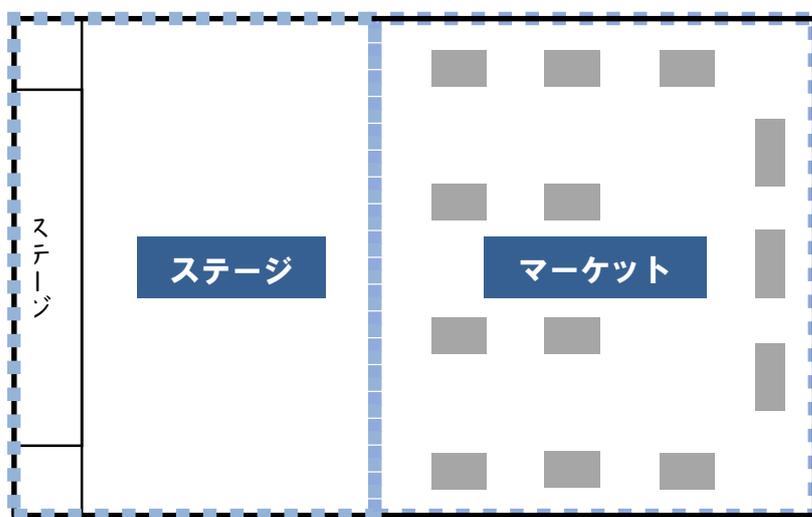
4 2学期の様子

2学期でも、「うれしい！ たのしい！ だいすき！ みんなでつくるみんなの学校」をめざして、取組を継続している。2学期では、委員会活動とクラブ活動のさらなる充実に取り組んだ。

「いぼっこわくわく文化祭」での取組

(1) 取組の概要

12月8日に、「いぼっこわくわく文化祭」と題して、冬の児童会集会を行った。高学年児童だけでなく、すべての児童が参加できるような形をとり、「ステージの部」「マーケットの部」など、自由に参加したり、発表の場をとったりできるようにした。



(2) 児童の様子

児童は、当日自由に散策を行い、スタンプや景品を楽しんで集めていた。児童の様子からも、この日を楽しみにしていた児童が多く見られた。また、同じ学年同士ではなく、異学年での出演も見られ、特別活動の意義を大いに感じた。

以下、児童の反応を示す。

- ・私は3年生だけど、みんなの前で踊れて良かったです。とても緊張したけれど、またこんなことがあれば踊りたいです。(3年生)
- ・私は、ステージとマーケットの両方に出演しました。忙しかったけれど、とても楽しい一日になりました。(6年生)
- ・ぼくは合唱団として出演しました。今まで、みんなの前で歌ったことがなかったけれど、会場みんなと一緒に歌ってくれて良かったです。また、歌いたいです。(5年生)

	ステージの部	マーケットの部
対象	各クラブ活動(4~6年)・各委員会活動(5~6年)	
団体	有志児童(どの学年だてもOK)	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラブ・委員会の活動を広めるもの ・自分の好きなことを表現するもの ・1ステージ3分程度 ・歌・ダンス・劇・映像など 	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラブ・委員会の活動を発展させ、広めるもの ・ゲームやワークショップなど参加者も主体的に活動できるもの ・短時間で楽しめるよう工夫したもの ・各団体A・B・Cの3グループに分け、交代しながら当日の運営をすすめる。 1人のクラブ・委員会でグループの重複がないように調整する。
条件	<ul style="list-style-type: none"> ・人数・学年の構成は自由。 個人・団体・異学年での構成も可。 ・参加団体が多数の場合は、それぞれの時間調整を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休み時間などを利用して計画・準備を行う。 ・内容・構成について各クラブ・委員会担当教師に確認・承認を得て申し込む。
		【例】クラフトクラブ…A 飼育栽培委員会…B (Cの時間帯は他のマーケットへ)

5 3学期の様子

3学期に行われた、5年生の取組「すすめ！6年生」を以下に示す。

題材「すすめ！6年生」【5年生 学級活動（3）】

つかむ 「すすめ！6年生」アンケートの結果を見てみよう

【楽しみにしていること】

- ・修学旅行 ・最後の運動会、音楽会 ・委員会活動
- ・新しい1年生とたくさん遊ぶこと

【がんばりたいこと】

- ・1年生を安全に登校させること ・揖保小学校のふさわしいリーダーになること
- ・委員会やクラブで代表になったときにうまくまとめたい ・低学年のお手本になりたい

【不安なこと】

- ・しっかりしている6年生になれるか ・委員会やクラブで下級生に教えること
- ・地区のみんなを安全に登下校させること ・自分の意見をもつこと

【6年生に聞きたいこと】

- ・どうやったら1年生と仲良くできるか ・全学年をうまくまとめるためには
- ・6年生になってできるようになったことは ・6年生になって学んだこと
- ・5年生のこの時期どんな気持ちだったか ・この1年間で一番大変だったこと

さぐる 6年生と交流しよう（いぼっこ給食）

・給食をいっしょに食べながらサイコロトークをする。

○話し合いのテーマ 楽しみにしていること がんばりたいこと 不安なこと
5年生から聞きたいこと 6年生から聞きたいこと ★FREE

見つける 6年生に向けて、今からできそうなことを考えよう

決める 一人一人の目標を決めよう

児童の変容及び今後に向けて

この活動の後、児童は6年生に向けて何ができるかを話し合ったり、現在行っている活動を見直したりするなど意欲的な様子が見られた。来年度も、「うれしい！ たのしい！ だいすき！ みんなでつくるみんなの学校」に向けて児童自らが主体的な活動をできるように取り組んでいきたい。